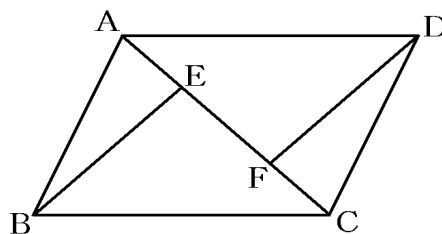


【1】平行四辺形の性質

[問題](2学期期末)

右図は、平行四辺形 $ABCD$ の対角線 AC 上に $AE=CF$ となる点 E , 点 F をとり, B と E , D と F を結んだものである。このとき, $BE=DF$ であることを証明しなさい。



[解答欄]

[解答]

$\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ において,

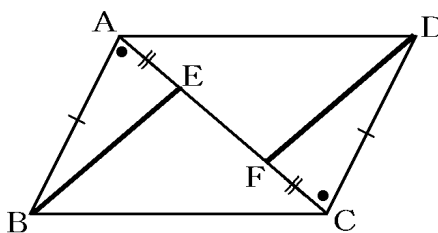
仮定より, $AE=CF$ ・・・①

四角形 $ABCD$ は平行四辺形なので, 向かい合う辺の長さが等しい。よって, $AB=CD$ ・・・②

また, $AB \parallel CD$ で平行線の錯角は等しいので, $\angle BAE = \angle DCF$ ・・・③

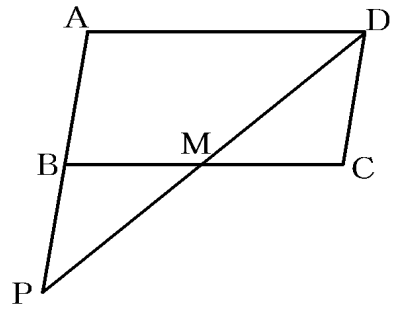
①, ②, ③より 2 辺とその間の角がそれぞれ等しいので, $\triangle ABE \equiv \triangle CDF$

よって, $BE=DF$



[問題](1 学期期末)

右の図の平行四辺形 ABCD で、辺 BC の中点を M とし、DM の延長と AB の延長との交点を P とすれば、 $AB=BP$ となることを証明しなさい。



[解答欄]

[解答]

$\triangle BPM$ と $\triangle CDM$ において

仮定より $BM=CM$ ・・・①

仮定より $AP \parallel DC$ で錯角は等しいので、

$\angle PBM = \angle DCM$ ・・・②

対頂角は等しいので、 $\angle BMP = \angle CMD$ ・・・③

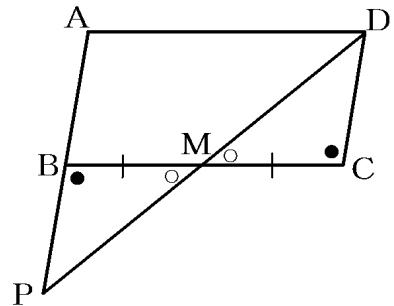
①、②、③より 1 辺と両端の角がそれぞれ等しいので、

$\triangle BPM \cong \triangle CDM$

合同な図形の対応する辺は等しいので、 $BP=CD$ ・・・④

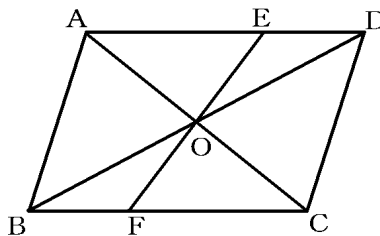
四角形 ABCD は平行四辺形なので、 $CD=AB$ ・・・⑤

④、⑤より、 $AB=BP$



[問題](3 学期)

次の図の平行四辺形 ABCD で、O は対角線の交点である。点 O を通る直線と辺 AD、辺 BC との交点をそれぞれ E、F とする。このとき、 $AE=CF$ となることを証明しなさい。



[解答欄]

[解答]

$\triangle AEO$ と $\triangle CFO$ において、
 平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるので、

$$AO=CO \cdots \textcircled{1}$$

平行線の錯角は等しいので、

$$\angle EAO = \angle FCO \cdots \textcircled{2}$$

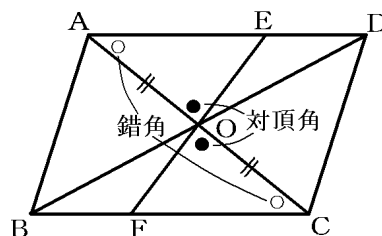
対頂角は等しいので、

$$\angle AOE = \angle COF \cdots \textcircled{3}$$

①、②、③より 1 辺と両端の角がそれぞれ等しいので、

$$\triangle AEO \cong \triangle CFO$$

合同な図形の対応する辺の長さは等しいので、 $AE=CF$

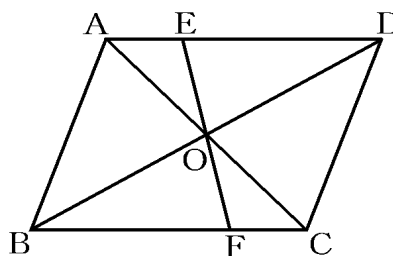


[問題](2 学期期末)

平行四辺形 ABCD の対角線の交点を O とし、O を通る直線が AD、BC と交わる点を、右の図のように E、F とすれば、 $OE=OF$ である。

(1) 仮定と結論をいいなさい。

(2) このことを証明せよ。



[解答欄]

(1) 仮定 :

結論 :

(2) 証明

[解答]

(1) 仮定 : 四角形 ABCD は平行四辺形

結論 : $OE=OF$

(2) 証明

$\triangle AEO$ と $\triangle CFO$ において,

平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるので,

$$AO=CO \cdots \textcircled{1}$$

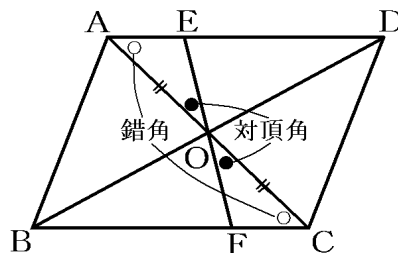
平行線の錯角は等しいので, $\angle EAO = \angle FCO \cdots \textcircled{2}$

対頂角は等しいので, $\angle AOE = \angle COF \cdots \textcircled{3}$

①, ②, ③より, 一辺と両端の角がそれぞれ等しいので,

$$\triangle AEO \cong \triangle CFO$$

合同な三角形の対応する辺の長さは等しいので, $OE=OF$



[問題](2 学期期末)

平行四辺形 ABCD で、辺 DC の中点を E とし、AE の延長と辺 BC の延長との交点を F とすると、 $BC = FC$ である。これを次のように証明した。() にあてはまる言葉や記号を入れよ。

[仮定] $AB \parallel DC$, $AD \parallel BC$, $DE = CE$

[結論] $BC = FC$

[証明] $\triangle AED$ と $\triangle FEC$ で、

$DE = (1)$ (仮定) \cdots ①

$\angle AED = (2)$ (対頂角) \cdots ②

$AD \parallel BC$ (仮定) より、

$\angle ADE = (3)$ (平行線と錯角) \cdots ③

①, ②, ③ から、

$\triangle AED \cong (4)$ [(5) 相等]

よって、 $AD = (7) \cdots$ ④

四角形 ABCD は平行四辺形であるから、

$AD = (7) \cdots$ ⑤

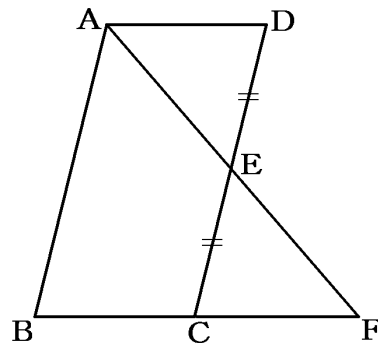
④, ⑤ から、 $BC = (8)$

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)

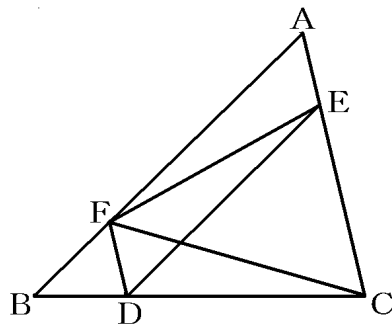
[解答](1) CE (2) $\angle FEC$ (3) $\angle FCE$ (4) $\triangle FEC$ (5) 二角挟辺 (6) FC (7) BC

(8) FC



[問題](2 学期期末)

右の図で、3点 D, E, F はそれぞれ $\triangle ABC$ の辺 BC, CA, AB 上の点で、 $FA=FC$, $AB \parallel ED$, $AC \parallel FD$ である。このとき、 $\triangle AFE \equiv \triangle FCD$ である。次の問いに答えよ。



(1) 仮定と結論をいいなさい。

(2) このことを証明せよ。

[解答欄]

(1) 仮定 :

結論 :

(2) 証明

[解答]

(1) 仮定 : $FA=FC$, $AB \parallel ED$, $AC \parallel FD$

結論 : $\triangle AFE \equiv \triangle FCD$

(2) 証明

$\triangle AFE$ と $\triangle FCD$ において、

仮定より、 $FA=FC \dots \textcircled{1}$

$AC \parallel FD$ で錯角は等しいので、 $\angle CFD = \angle FCA \dots \textcircled{2}$

また $\textcircled{1}$ より、 $\triangle FAC$ は二等辺三角形なので、

$\angle FCA = \angle FAE \dots \textcircled{3}$

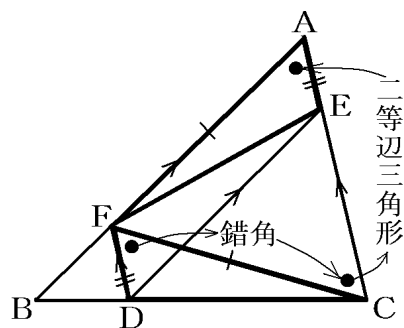
$\textcircled{2}$, $\textcircled{3}$ より $\angle FAE = \angle CFD \dots \textcircled{4}$

$AB \parallel ED$, $AC \parallel FD$ なので四角形 AEDF は平行四辺形

よって $AE=FD \dots \textcircled{5}$

$\textcircled{1}$, $\textcircled{4}$, $\textcircled{5}$ より二辺とその間の角が等しいので、

$\triangle AFE \equiv \triangle FCD$



【】 平行四辺形になるための条件

[問題](3 学期)

平行四辺形であるための条件を 2 つ書きなさい。

[解答欄]

--

[解答]2 組の向かい合った辺がそれぞれ等しい。2 組の向かい合った角がそれぞれ等しい。(1 組の向かい合う辺が平行で等しい。対角線がそれぞれの中点で交わる。)

[問題](3 学期)

四角形 ABCD の対角線の交点を O とするとき、次の条件のうちで、四角形 ABCD が平行四辺形になるものには○を、平行四辺形になるとは限らないものには×を書け。

- (1) $AD \parallel BC$, $AB=DC$
- (2) $AD=BC$, $\angle ADB=\angle CBD$
- (3) $ABC \equiv \triangle ADC$
- (4) $AO=CO$, $\angle DAO=\angle BCO$

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) × (2) ○ (3) × (4) ×

[問題](3 学期)

次の四角形 ABCD は平行四辺形になりますか。なる場合はそのときあてはまる条件を、ならない場合は×で答えなさい。

- (1) $AD \parallel BC$, $AD=5\text{cm}$, $BC=5\text{cm}$
- (2) $AB=6\text{cm}$, $BC=4\text{cm}$, $DC=4\text{cm}$, $AD=6\text{cm}$,

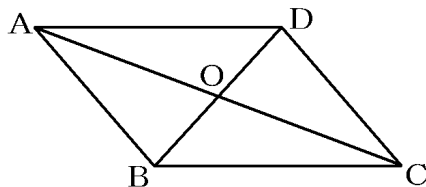
[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) なる。1 組の辺が平行で等しい。 (2) ×

[問題](3 学期)

図のような四角形 ABCD に次の条件を加えると
き、平行四辺形となるものには○を、そうでないも
のには×を書きなさい。



- (1) $AD \parallel BC$, $\angle DAB + \angle CDA = 180^\circ$
- (2) $AC = BD$, $AC \perp BD$
- (3) $AD \parallel BC$, $AB = DC$
- (4) $AO = BO = DO = CO$

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) ○ (2) × (3) × (4) ○

[解説]

(1) 右図で、 $\angle EDC + \angle CDA = 180^\circ$

条件より、 $\angle DAB + \angle CDA = 180^\circ$

よって、 $\angle EDC + \angle CDA = \angle DAB + \angle CDA$ なので、

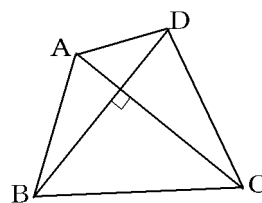
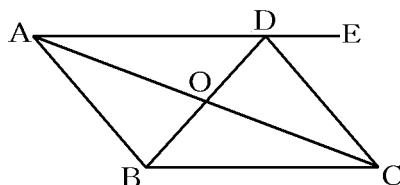
$\angle EDC = \angle DAB$ となり、

同位角が等しいので $AB \parallel DC$

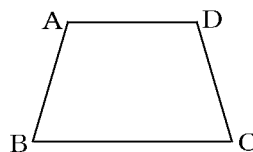
また、条件より $AD \parallel BC$ なので、向かい合う 2 つの辺が平行になる。

よって、四角形 ABCD は平行四辺形になる。

(2) 例えば、右図のように、 $AC = BD$, $AC \perp BD$ である四角形は平行四辺形ではない。



(3) 例えば、右図のような四角形は $AD \parallel BC$, $AB = DC$ であるが、平行四辺形ではない。もし、 $AD \parallel BC$, $AD = BC$ であるならば、「向かい合う 1 組の辺が平行で等しい」ので平行四辺形になる。

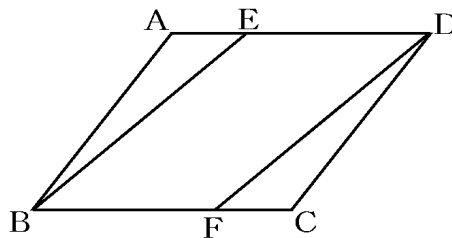


(4) $AO = BO = DO = CO$ なので、対角線が中点で交わる。したがって、平行四辺形になる。(正確には、長方形になる。長方形は平行四辺形的一种である。)

【】 平行四辺形になることの証明①

[問題](3 学期)

次の図で、平行四辺形 ABCD の辺 AD, BC 上に $AE=CF$ となるような点 E, F をとる。このとき、四角形 EBF D は平行四辺形になることを、次のように証明した。() にあてはまる記号やことばを入れなさい。



(証明)

四角形 EBF D において

四角形(ア)は平行四辺形だから、

(イ) // BC より

$ED // (ウ) \dots \textcircled{1}$

$AD = (エ)$, $AE = CF$ だから

$ED = AD - (オ)$

$BF = (カ) - CF$

よって

$ED = (キ) \dots \textcircled{2}$

①, ②より

(ク) から

四角形(ケ)は平行四辺形である。

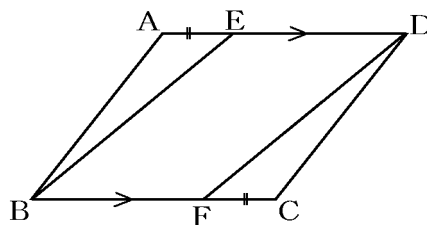
[解答欄]

ア	イ	ウ	エ
オ	カ	キ	
ク			ケ

[解答]ア ABCD イ AD ウ BF エ BC オ AE カ BC キ BF ク 1組の向かい合う辺が平行で等しい ケ EBF D

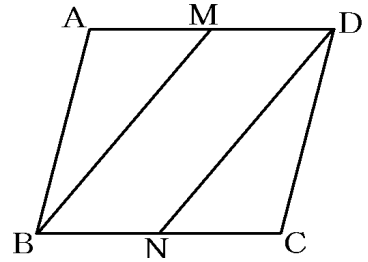
[解説]

右図を参照



[問題](3学期)

右の図で点 M, N は、平行四辺形 ABCD の辺 AD, BC の中点です。このとき、四角形 MBND が平行四辺形であることを次のように証明しました。()をうめなさい。



[証明]

平行四辺形の向かい合う辺は等しいので、

AD=(ア)

仮定から、

$$MD = \frac{1}{2} AD, \quad BN = \frac{1}{2} (\text{イ}) \text{ なので、}$$

MD=BN・・・①

平行四辺形の向かいあう辺は(ウ)なので、

AD // (エ)

よって、MD // BN・・・②

①, ②から、四角形 MBND は(オ)なので、平行四辺形である。

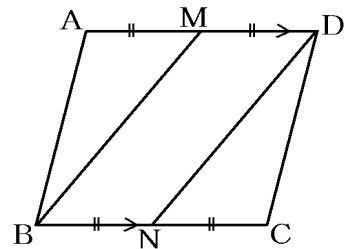
[解答欄]

ア	イ	ウ	エ
オ			

[解答]ア BC イ BC ウ 平行 エ BC オ 1組の向かい合う辺が平行で等しい

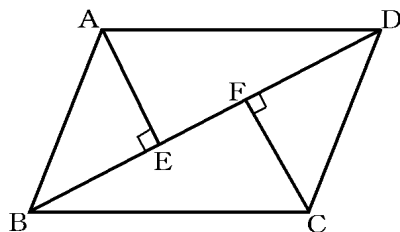
[解説]

右図を参照



[問題](3 学期)

右の図のように平行四辺形 ABCD の頂点 A, C から対角線 BD に垂線をひき、対角線との交点をそれぞれ E, F とする。このとき四角形 AECF が平行四辺形であることを次のように証明した。()の中にあてはまるものを書き、証明を完成させなさい。



[証明]

△ABE と △CDF において

$$AB = (1)$$

錯角は等しいから

$$\angle ABE = \angle CDF$$

$$\angle AEB = \angle CFD = 90^\circ$$

直角三角形で(2)がそれぞれ等しいから

$$\triangle ABE \cong \triangle CDF$$

従って、 $AE = (3) \cdots \textcircled{1}$

また、 $\angle AEF = \angle CFE = 90^\circ$ で錯角が等しいから

$$AE (4) CF \cdots \textcircled{2}$$

①, ②より

四角形 AECF は、平行四辺形になる。

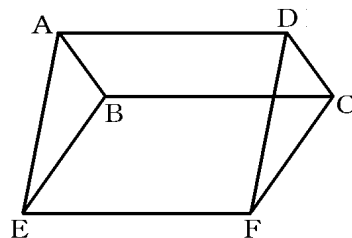
[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	

[解答](1) CD (2) 斜辺と 1 鋭角 (3) CF (4) //

[問題](3 学期)

右の図で、四角形 ABCD, BEFC がともに平行四辺形であるとき、四角形 AEFB も平行四辺形であることを証明しなさい。



[解答欄]

[解答]

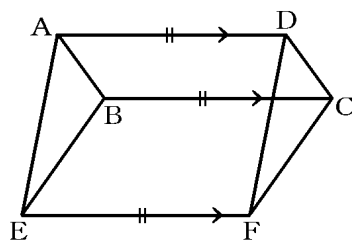
四角形 $ABCD$ は平行四辺形なので $AD \parallel BC$, $AD = BC \cdots \textcircled{1}$

四角形 $BEFC$ は平行四辺形なので $EF \parallel BC$, $EF = BC \cdots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$ より, $AD \parallel EF$, $AD = EF$

1組の向かい合う辺が平行で, 長さが等しいので,

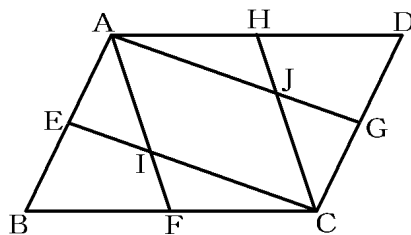
四角形 $AEFD$ は平行四辺形である。



[問題](3学期)

右の図で, 四角形 $ABCD$ は平行四辺形で, E, F, G, H は各辺の中点である。このとき, 四角形 $AICJ$ は平行四辺形であることを証明しなさい。

[解答欄]



[解答]

四角形 $AFCH$ について, 仮定より, $AH \parallel FC \cdots \textcircled{1}$

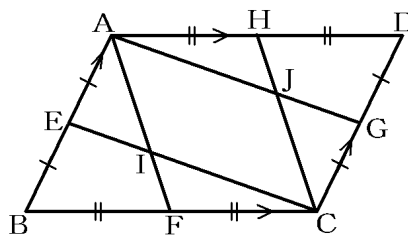
また, $AD = BC$ で H, F はそれぞれ AD, BC の中点なので, $AH = FC \cdots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$ より 1組の辺が平行で, 長さが等しいので, 四角形 $AFCH$ は平行四辺形

よって, $AI \parallel CJ \cdots \textcircled{3}$

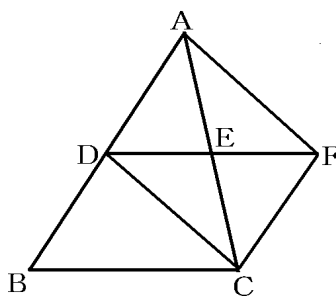
同様にして, 四角形 $AECG$ も平行四辺形なので, $AJ \parallel CI \cdots \textcircled{4}$

$\textcircled{3}$, $\textcircled{4}$ より 2組の向かい合った辺がそれぞれ平行なので四角形 $AICJ$ は平行四辺形である。



[問題](3 学期)

右の図のように、 $\triangle ABC$ の辺 AB 、 AC の中点をそれぞれ D 、 E とする。 DE の延長上に $DE=EF$ となるように点 F をとる。このとき、 $DF=BC$ であることを次のように証明した。この証明を完成させよ。(a), (b), (c) には最も適するものを[A 群]から、また、(あ), (い) には根拠にしたものを[B 群]から、それぞれ 1 つずつ選び、記号で答えよ。



<証明>

仮定より、 $AE=CE$ …①, (a)…②

①, ②より、(あ)から、四角形 $ADCF$ は平行四辺形である。

このことから、 $AD \parallel FC$ すなわち、(b)…③

$AD=FC$ …④

仮定より、 $AD=DB$ …⑤

④, ⑤より、(c)…⑥

③, ⑥より、1 組の対辺が平行で長さが等しいので、四角形 $DBCF$ は平行四辺形である。したがって、(い)から、 $DF=BC$ となる。(証明終)

[A 群]

ア $AF \parallel DC$ イ $DB \parallel FC$ ウ $DF \parallel BC$ エ $DE=FE$ オ $DB=FC$

[B 群]

ア 平行四辺形では、2 組の対辺はそれぞれ等しい。

イ 平行四辺形では、2 組の対角はそれぞれ等しい。

ウ 平行四辺形では、2 つの対角線はそれぞれの中点で交わる。

エ 2 組の対辺がそれぞれ平行である四角形は、平行四辺形である。

オ 2 組の対辺がそれぞれ等しい四角形は平行四辺形である。

カ 2 組の対角がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

キ 2 つの対角線がそれぞれの中点で交わる四角形は、平行四辺形である。

ク 1 組の対辺が平行で長さが等しい四角形は、平行四辺形である。

[解答欄]

(a)	(b)	(c)	(あ)	(い)
-----	-----	-----	-----	-----

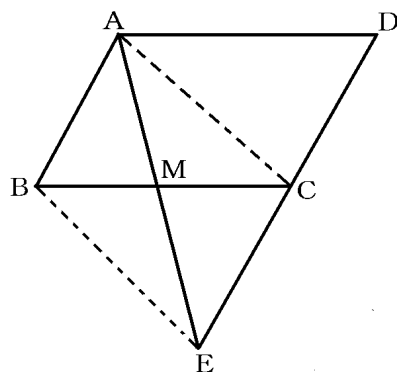
[解答](a) エ (b) イ (c) オ (あ) キ (い) ア

【】 平行四辺形になることの証明②

[問題](3年1学期中間)

平行四辺形 ABCD の BC の中点を M とし、AM の延長と DC の延長との交点を E とします。

- (1) $\triangle ABM \equiv \triangle ECM$ を証明しなさい。
- (2) 四角形 ABEC は平行四辺形であることを証明しなさい。



[解答欄]

[解答]

(1)

$\triangle ABM$ と $\triangle ECM$ において、

仮定より、 $BM = CM \dots \textcircled{1}$

対頂角は等しいので、 $\angle AMB = \angle EMC \dots \textcircled{2}$

仮定より $AB \parallel EC$ で平行線の錯角は等しいので、
 $\angle ABM = \angle ECM \dots \textcircled{3}$

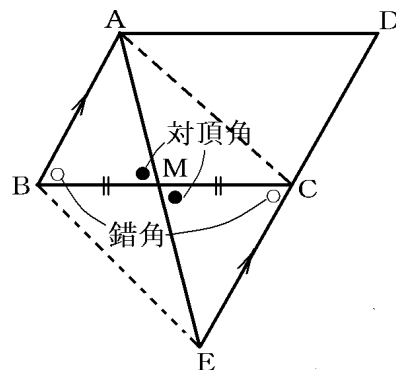
$\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ 、 $\textcircled{3}$ より1辺と両端の角がそれぞれ等しいので、
 $\triangle ABM \equiv \triangle ECM$

(2)

仮定より $BM = CM \dots \textcircled{4}$

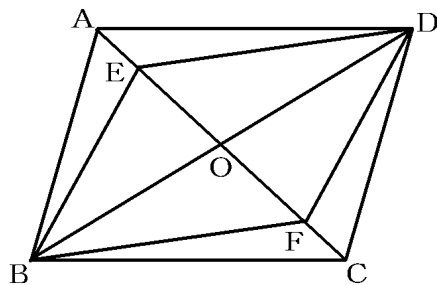
(1)より $\triangle ABM \equiv \triangle ECM$ なので $AM = EM \dots \textcircled{5}$

$\textcircled{4}$ 、 $\textcircled{5}$ より対角線が互いに中点で交わるので、
 四角形 ABEC は平行四辺形である。



[問題](3 学期)

平行四辺形 ABCD で、対角線 AC に、点 E, F を、 $AE=CF$ となるようにとると、四角形 BFDE は平行四辺形である。このことを、次のように証明した。空らんをうめて証明を完成させなさい。



<証明>

四角形 ABCD は平行四辺形だから

(1) …①

(2) …②

また、仮定より(3) …③

②, ③より(4) …④

①, ④より(5) から、四角形 BFDE は平行四辺形である。

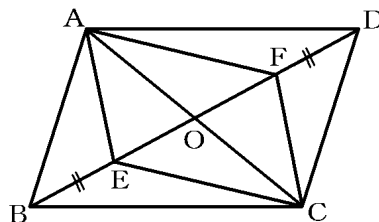
[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	

[解答](1) $BO=DO$ (2) $AO=CO$ (3) $AE=CF$ (4) $EO=FO$ (5) 対角線が互いに
 中点で交わる

[問題](3 学期)

次の図のような平行四辺形 ABCD の対角線の交点を O とし、対角線 BD 上に 2 点 E, F を $BE=DF$ となるようにとる。このとき、四角形 AECF が平行四辺形になることを次のように証明した。() に適する記号や言葉を入れて証明を完成させなさい。



<証明>

$BE=DF$ ((1) より) …①

$BO=DO$ ((2) なので) …②

①, ②より(3) = FO …③

(4) = CO ((5) なので) …④

③, ④より(6) から、四角形 AECF は平行四辺形である。

[解答欄]

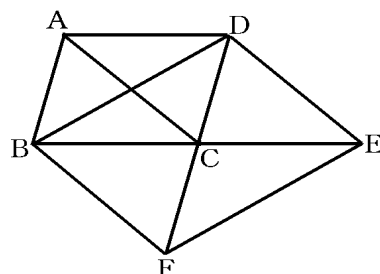
(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)

[解答](1) 仮定 (2) 四角形 ABCD は平行四辺形 (3) EO (4) AO (5) 四角形 ABCD は平行四辺形 (6) 対角線が互いに中点で交わる

[問題](3 学期)

平行四辺形 ABCD の辺 BC, DC の延長上に,
 $BC=CE$, $DC=CF$ となる点 E, F を右の図のようにと
ります。

- (1) 平行四辺形が3つありますので, すべてかきなさい。
- (2) (1)の平行四辺形の中で1番大きい平行四辺形につい
て, 平行四辺形であることを証明しなさい。



[解答欄]

(1)
(2)

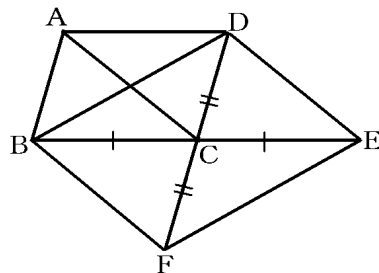
[解答]

(1) 平行四辺形 BDEF, 平行四辺形 ACED, 平行四辺形 ABFC

(2) 四角形 BDEF について

$BC=CE$, $DC=CF$ なので対角線は互いに中点で交わっ
ている。

したがって, 四角形 BDEF は平行四辺形である。

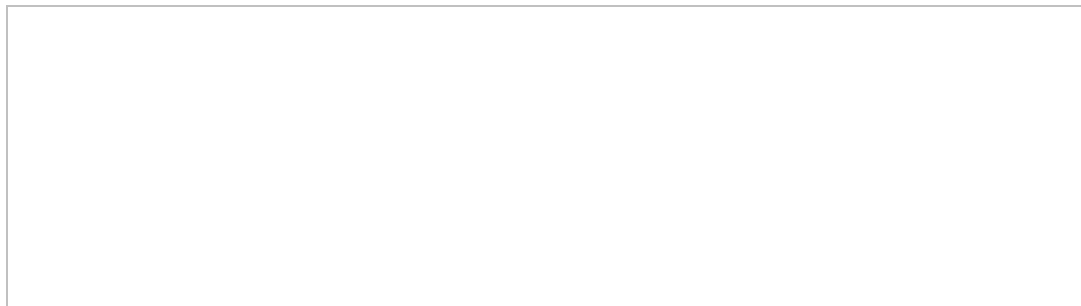


【】 平行四辺形になることの証明③

[問題](3 学期)

平行四辺形 ABCD で辺 AB, BC, CD, DA の中点をそれぞれ E, F, G, H とするとき四角形 EFGH は平行四辺形であることを証明しなさい。

[解答欄]



[解答]

$\triangle AEH$ と $\triangle CGF$ において,

仮定より $AB=CD$, かつ E,G はそれぞれ辺 AB, CD の中点なので, $AE=CG$ ・・・①

同様にして $AH=CF$ ・・・②

平行四辺形の向かい合う角は等しいので,

$\angle EAH=\angle GCF$ ・・・③

①, ②, ③より 2 辺とその間の角がそれぞれ等しいので,

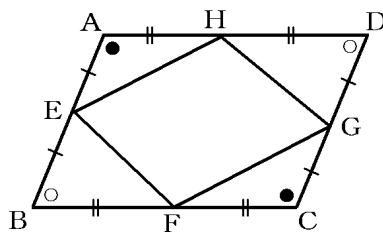
$\triangle AEH \equiv \triangle CGF$

合同な図形の対応する辺は等しいので, $EH=GF$ ・・・④

同様にして, $\triangle BEF \equiv \triangle DGH$ なので, $EF=GH$ ・・・⑤

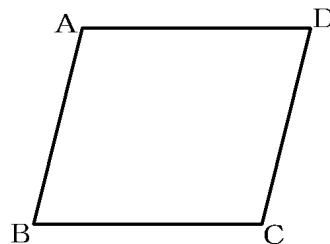
④, ⑤より向かい合う 2 組の辺の長さが等しいので,

四角形 EFGH は平行四辺形である。



[問題](3 学期)

四角形 ABCD において、 $AB \parallel DC$ 、 $\angle A = \angle C$ のとき、
四角形 ABCD は平行四辺形であることを証明しなさい。



[解答欄]

(仮定)

(結論)

(証明)

[解答]

(仮定) $AB \parallel DC$ 、 $\angle A = \angle C$

(結論) 四角形 ABCD は平行四辺形である

(証明)

$AB \parallel DC$ なので $\angle C + \angle B = 180^\circ$

$$\angle A + \angle D = 180^\circ$$

仮定より $\angle A = \angle C$ なので、 $\angle B = \angle D$

よって向かい合う 2 組の角がそれぞれ等しいので、

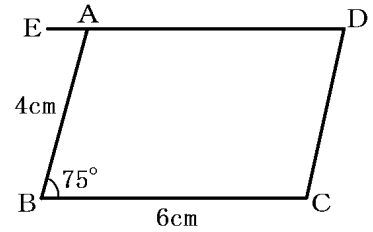
四角形 ABCD は平行四辺形である

【】 平行四辺形についての計算問題

[問題](3 学期)

右の平行四辺形 ABCD で、次の(1)~(3)の長さや角の大きさを求めなさい。

- (1) AD (2) $\angle D$ (3) $\angle BCD$



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 6cm (2) 75° (3) 105°

[解説](1) 平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しいので、 $AD=BC=6\text{cm}$

(2) 平行四辺形の向かい合う角の大きさは等しいので、 $\angle D=\angle B=75^\circ$

(3) 四角形の内角の和は $180^\circ \times (4-2)=360^\circ$ なので $\angle A+\angle B+\angle C+\angle D=360^\circ$

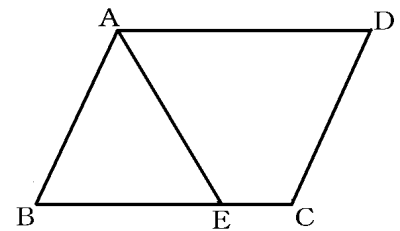
平行四辺形の向かい合う角の大きさは等しいので、 $\angle B=\angle D=75^\circ$, $\angle A=\angle C$

ゆえに、 $\angle C+75^\circ +\angle C+75^\circ =360^\circ$, $2\angle C=210^\circ$ ゆえに $\angle C=105^\circ$

[問題](3 学期)

次の図の平行四辺形 ABCD で、点 E は $\angle BAD$ の二等分線と辺 BC との交点である。 $\angle ABE=64^\circ$, $AB=5\text{cm}$, $BC=7\text{cm}$ のとき、次の問いに答えなさい。

- (1) $\angle AEB$ の大きさを求めなさい。
 (2) 線分 EC の長さを求めなさい。



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 58° (2) 2cm

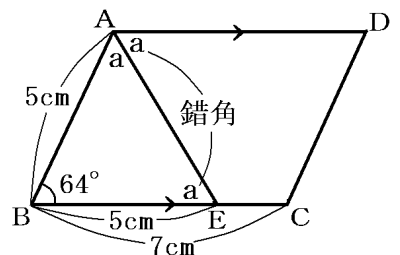
[解説]

(1) 「平行線では錯角は等しい」性質を使って、図のように a の角をとる。

$\triangle ABE$ で「三角形の内角の和は 180° 」なので、
 $a + a + 64^\circ = 180^\circ$, $2a = 116^\circ$ ゆえに $a = 58^\circ$

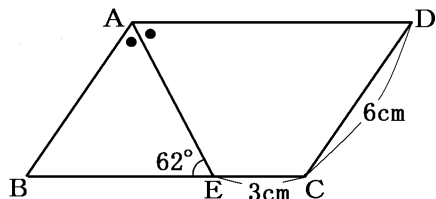
(2) 「2角が等しい三角形は二等辺三角形である」ので、

$\triangle BAE$ は二等辺三角形で $BA=BE=5\text{cm}$ ゆえに、 $EC=BC-BE=7-5=2\text{cm}$



[問題](3 学期)

右の図の平行四辺形 ABCD で、 $\angle BAD$ の二等分線と辺 BC の交点を E とするとき、次の問いに答えよ。



- (1) $\triangle ABE$ はどんな三角形か。
- (2) $\angle ADC$ の大きさを求めよ。
- (3) AD の長さを求めよ。

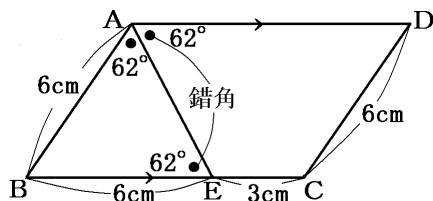
[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 二等辺三角形 (2) 56° (3) 9cm

[解説]

(1) 「平行線では錯角は等しい」性質を使って、図のように 62° の角を移す。



「2 角が等しい三角形は二等辺三角形である」ので、 $\triangle ABE$ は二等辺三角形になる。

(2) $\triangle ABE$ で、「三角形の内角の和は 180° 」なので、 $\angle B + 62^\circ + 62^\circ = 180^\circ$, $\angle B = 56^\circ$

「平行四辺形の向かい合う角は等しい」ので、 $\angle D = \angle B$ ゆえに $\angle D = 56^\circ$

(3) 「平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しい」ので、 $AB = CD = 6\text{cm}$

$\triangle ABE$ は二等辺三角形なので、 $AB = BE$

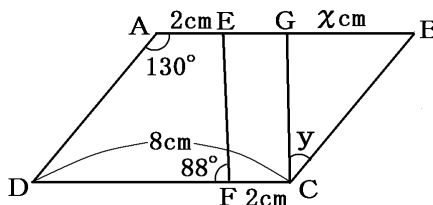
ゆえに $BE = 6\text{cm}$ $BC = BE + EC = 6 + 3 = 9\text{cm}$

「平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しい」ので、 $AD = BC = 9\text{cm}$

[問題](3 学期)

次の図の平行四辺形 ABCD で、 $EF \parallel GC$, $DC = 8\text{cm}$ のとき次の問いに答えなさい。

- ① x の値を求めなさい。
- ② y の角の大きさを求めなさい。



[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 4 ② 42°

[解説]

① $EG \parallel FC$, $EF \parallel GC$ なので, 四角形 $EFCG$ は平行四辺形。「平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しい」ので, $EG = FC = 2\text{cm}$

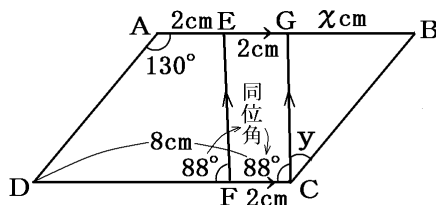
また, $AB = DC = 8\text{cm}$

$$AE + EG + GB = AB, \quad 2 + 2 + x = 8$$

ゆえに $x = 4$

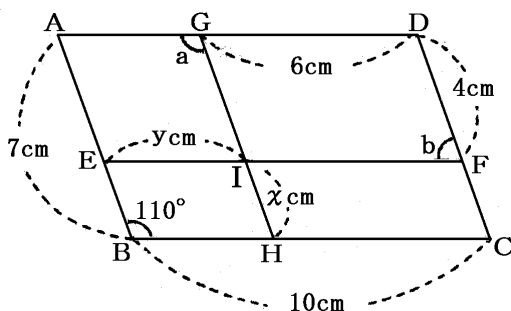
② 「平行線では同位角は等しい」性質を使って, 図のように 88° の角を移す。

「平行四辺形の向かい合う角は等しい」ので, $y + 88^\circ = 130^\circ$ ゆえに $y = 42^\circ$



[問題](3 学期)

右の図の平行四辺形 $ABCD$ で, $AD \parallel EF$, $AB \parallel GH$ である。このとき, x, y の値, $\angle a, \angle b$ の大きさをそれぞれ求めなさい。



[解答欄]

$x =$	$y =$	$a =$	$b =$
-------	-------	-------	-------

[解答] $x = 3\text{cm}$, $y = 4\text{cm}$, $\angle a = 110^\circ$, $\angle b = 70^\circ$

[解説]

四角形 $ABHG$ は仮定より向かい合う 2 組の辺が平行なので平行四辺形である。

平行四辺形の向かい合う角は等しいので, $a = 110^\circ$

同様にして, 四角形 $GDFI$ も平行四辺形で, $b = \angle DGI = 180^\circ - a = 180^\circ - 110^\circ = 70^\circ$

また, 平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しいので, $x = CF = 7 - 4 = 3\text{cm}$

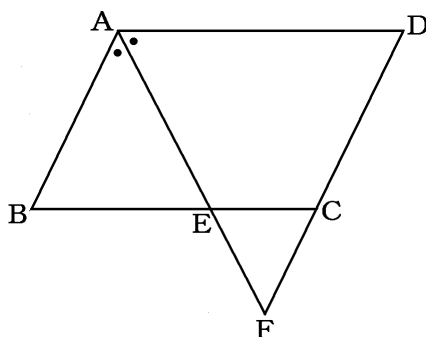
$y = AG = 10 - 6 = 4\text{cm}$

[問題](3 学期)

平行四辺形 ABCD の $\angle A$ の二等分線が辺 BC と交わる点を E, 辺 DC の延長と交わる点を F とする。

これについて, 次の問いに答えなさい。

- (1) $\angle F=65^\circ$ のとき, $\angle B, \angle AEC$ の大きさを求めなさい。
 (2) $AB=5\text{cm}, AD=9\text{cm}$ のとき, CF の長さを求めなさい。



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) $\angle B=50^\circ$, $\angle AEC=115^\circ$ (2) 4cm

[解説]

(1) 仮定より $\angle CFE=65^\circ$ で, 平行線の錯角は等しいので, $\angle BAE=\angle CFE$

よって $\angle BAE=65^\circ$

また, 仮定より $\angle DAE=\angle BAE$ なので,

$\angle DAE=65^\circ$

よって, $\angle BAD=\angle BAE+\angle DAE=65^\circ+65^\circ=130^\circ$

平行線の錯角は等しいので, $\angle GBA=\angle BAD$ よって $\angle GBA=130^\circ$ ゆえに, $\angle B=180^\circ-130^\circ=50^\circ$

次に $\angle AEC$ について

平行線の錯角は等しいので, $\angle BEA=\angle DAE$ よって $\angle BEA=65^\circ$

$\angle AEC=180^\circ-\angle BEA=180^\circ-65^\circ=115^\circ$

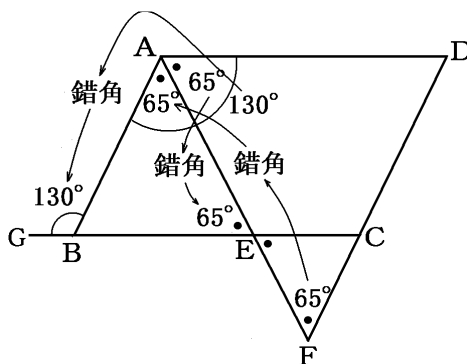
(2) (1)より $\angle BAE=\angle BEA$ なので, $\triangle BAE$ は二等辺三角形で, $BA=BE$

$BA=5\text{cm}$ なので, $BE=5\text{cm}$ また, $BC=AD=9\text{cm}$

よって, $CE=BC-BE=9-5=4(\text{cm})$

対頂角は等しいので, $\angle CEF=\angle AEB=65^\circ$

よって, $\angle CEF=\angle CFE$ なので, $\triangle CEF$ は二等辺三角形で $CF=CE$ ゆえに, $CF=4\text{cm}$



【】 いろいろな四角形

[問題](3 学期)

- (1) ひし形の定義は 4 つの()が等しい四角形である。
- (2) 長方形の定義は 4 つの()が等しい四角形である。
- (3) 平行四辺形の定義は 2 組の向かい合う(①)がそれぞれ(②)な四角形である。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
-----	-----	------	---

[解答](1) 辺 (2) 角 (3)① 辺 ② 平行

[解説]

ひし形, 長方形, 正方形は平行四辺形の特殊な場合である。

ひし形: 定義「4 つの辺が等しい四角形」

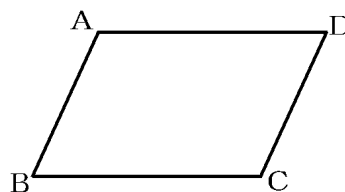
長方形: 定義「4 つの角が等しい四角形」

正方形: 定義「4 つの角が等しく, 4 つの辺が等しい四角形」

[問題](3 学期)

平行四辺形 ABCD が次の条件を持つとき, それぞれどのような四角形になるか答えなさい。

- (1) $AB=BC$
- (2) $\angle A=\angle B$
- (3) $AB=BC, \angle B=90^\circ$



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) ひし形 (2) 長方形 (3) 正方形

[解説]

(1) 平行四辺形なので向かい合う辺の長さが等しく, $AB=CD, AD=BC$ である。これに $AB=BC$ の条件が付け加わると, $AB=BC=CD=AD$ で 4 つの辺の長さが等しくなり, ひし形になる。

(2) 平行四辺形なので向かい合う角の大きさが等しく, $\angle A=\angle C, \angle B=\angle D$ である。これに $\angle A=\angle B$ の条件が付け加わると, $\angle A=\angle B=\angle C=\angle D$ で 4 つの角が等しく

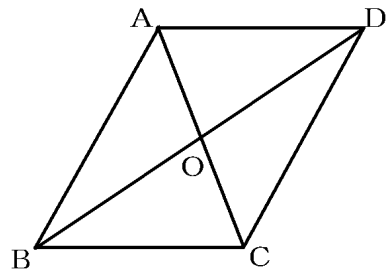
なり，長方形になる。

(3) $AB=BC$ なので(1)と同様にして4辺が等しくなる。また $\angle B=90^\circ$ なので，他の3つの角もすべて 90° になり， $\angle A=\angle B=\angle C=\angle D$ となる。4つの角が等しく，4つの辺が等しい四角形なので正方形になる。

[問題](3 学期)

平行四辺形 ABCD に次の条件が加わると，どんな四角形になるか答えよ。ただし，O は対角線の交点とする。

- (1) $AB=AD$
- (2) $AC=BD$
- (3) $\angle AOB=90^\circ$ ， $\angle ABC=90^\circ$



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) ひし形 (2) 長方形 (3) 正方形

[解説]

ひし形，長方形，正方形は平行四辺形の特殊な場合である。

ひし形：定義「4つの辺が等しい四角形」，性質「対角線が垂直に交わる」

長方形：定義「4つの角が等しい四角形」，性質「対角線の長さが等しい」

正方形：定義「4つの角が等しく，4つの辺が等しい四角形」

性質「対角線の長さが等しく垂直に交わる」

(1) 平行四辺形なので向かい合う辺の長さが等しく， $AB=CD$ ， $AD=BC$ である。これに $AB=AD$ の条件が付け加わると， $AB=BC=CD=AD$ で4つの辺の長さが等しくなり，ひし形になる。

(2) 対角線が等しい平行四辺形は長方形である。

(3) $\angle AOB=90^\circ$ より対角線が垂直に交わる。対角線が垂直に交わる平行四辺形はひし形である。 $\angle ABC=90^\circ$ より他の3つの内角もすべて 90° になる。4つの角が等しい四角形は長方形である。ひし形と長方形の性質を同時にもつのは正方形である。

[問題](3 学期)

下の四角形ア～オのうち、(1)～(4)の条件を常に満たすものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア：平行四辺形 イ：正方形 ウ：台形 エ：長方形 オ：ひし形

- (1) 内角の和が 360° である。
- (2) 2つの対角線が中点で交わる。
- (3) 4つの辺の長さがすべて等しい。
- (4) 2つの対角線の長さが等しい。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) アイウエオ (2) アイエオ (3) イオ (4) イエ

[解説]

- (1) 内角の和が 360° である多角形は四角形である。ア～オはすべて四角形。
- (2) 2つの対角線が中点で交わる四角形は平行四辺形である。正方形、長方形、ひし形は平行四辺形の種類である。
- (3) 4つの辺の長さがすべて等しい四角形はひし形である。正方形はひし形の種類である。
- (4) 2つの対角線の長さが等しい四角形は長方形である。正方形は長方形の種類である。

[問題](3 学期)

次の問いに答えなさい。

- (1) 平行四辺形 ABCD で $AC \perp BD$ である。四角形 ABCD はどんな四角形か。
- (2) (1)の条件にさらに $\angle A = \angle B$ を加えるとどんな四角形になるか。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) ひし形 (2) 正方形

[解説]

- (1) $AC \perp BD$ より対角線が垂直に交わる。対角線が垂直に交わる平行四辺形はひし形である。
- (2) 平行四辺形なので向かい合う角の大きさが等しく、 $\angle A = \angle C$, $\angle B = \angle D$ である。

これに $\angle A = \angle B$ の条件が付け加わると、 $\angle A = \angle B = \angle C = \angle D$ で4つの角が等しくなり、長方形になる。(1)の性質も満たすので、ひし形でもある。ひし形と長方形の性質を同時にもつのは正方形である。

[問題](2 学期期末)

下は、二等辺三角形、正三角形、平行四辺形の定義と定理である。空欄にあてはまる言葉を選択欄から選び記号で答えよ。ただし、同じ記号を何度使ってもよい。

- ・(①)が等しい三角形を二等辺三角形という。(定義)
- ・二等辺三角形の(②)は等しい。(定理)
- ・二等辺三角形の(③)の二等分線は(④)を垂直に二等分する。(定理)
- ・(⑤)が等しい三角形を正三角形という。(定義)
- ・正三角形の3つの(⑥)は等しい。(定理)
- ・2組の(⑦)が、それぞれ(⑧)な四角形を平行四辺形という。(定義)
- ・平行四辺形の対角線は、それぞれの(⑨)で交わる。(定理)

[選択欄]

ア：内角， イ：外角， ウ：同位角， エ：底角， オ：錯角， カ：同位角
 キ：直角， ク：鋭角， ケ：鈍角， コ：頂角， サ：対辺， シ：底辺，
 ス：平行， セ：1辺， ソ：2辺， タ：3辺， チ：中点

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨			

[解答]① ソ ② エ ③ コ ④ シ ⑤ タ ⑥ ア ⑦ サ ⑧ ス ⑨ チ

【】 平行線と面積①

[問題](3 学期)

右の図は $AD \parallel BC$ の台形である。 $\triangle ABC$ と面積の等しい三角形を記号で表しなさい。

[解答欄]

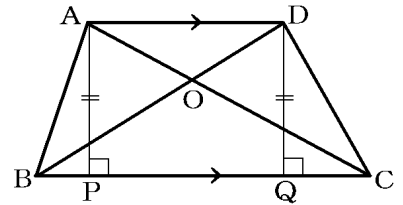
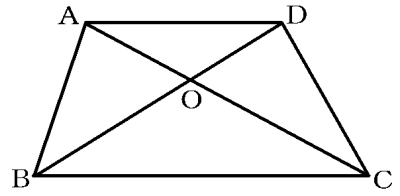
[解答] $\triangle DBC$

[解説]

$\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ で、図のように P 、 Q をとる。

それぞれの底辺を BC とすると、底辺は共通。

$AD \parallel BC$ なので $AP = DQ$ で、それぞれの三角形の高さも等しい。よって 2 つの三角形の面積は等しい。

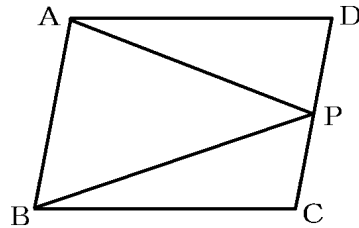
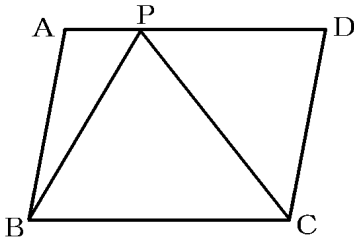


[問題](3 学期)

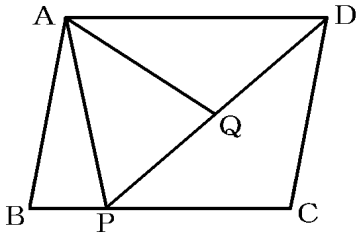
面積が 40cm^2 の平行四辺形 $ABCD$ で、点 P を次のようにとるとき、以下の各問に答えなさい。

(1) $\triangle ABP + \triangle CDP$ の面積を求めなさい。(2) $\triangle ADP$ の面積を求めなさい。

($CP = DP$)



(3) 点 Q が線分 DP の中点であるときの $\triangle APQ$ の面積を求めなさい。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 20cm^2 (2) 10cm^2 (3) 10cm^2

[解説]

(1) 右図のように線分 AC をひく。

$\triangle ABP$ と $\triangle ACP$ について、

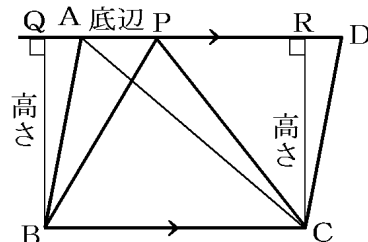
AP を共通の底辺とすると、 $QD \parallel BC$ なので、

$BQ = CR$ となり、2つの三角形の高さも等しくなり、

$\triangle ABP = \triangle ACP$ と2つの三角形の面積は等しくなる。

よって、 $\triangle ABP + \triangle CDP = \triangle ACP + \triangle CDP = \triangle ACD$

$\triangle ACD$ の面積は平行四辺形 ABCD の $\frac{1}{2}$ で、 $40 \times \frac{1}{2} = 20 (\text{cm}^2)$ となる。

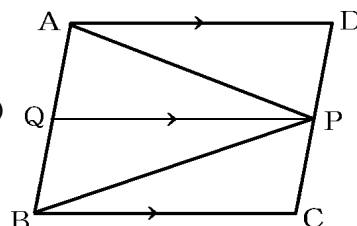


(2) 右図のように AD, BC に平行な線分 PQ をひく。

明らかに、4つの三角形($\triangle ADP$, $\triangle PQA$, $\triangle PQB$, $\triangle CBP$)

はすべて面積が等しい。

よって、 $(\triangle ADP \text{ の面積}) = 40 \div 4 = 10\text{cm}^2$



(3) 右図のように底辺と高さをとると、

(平行四辺形 ABCD の面積) = (底辺 AD) × (高さ BH)

$(\triangle APD \text{ の面積}) = \frac{1}{2} \times (\text{底辺 AD}) \times (\text{高さ BH})$

よって、 $\triangle APD$ の面積は平行四辺形 ABCD の面積の半分
で、 $40 \div 2 = 20 (\text{cm}^2)$

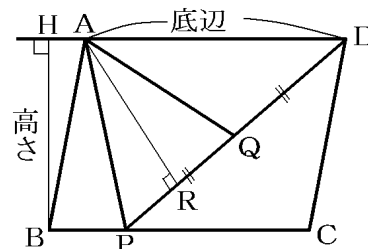
次に、 $\triangle APQ$ と $\triangle ADQ$ について、

点 Q が線分 DP の中点であるので、(底辺 PQ) = (底辺 DQ)

高さ AR は共通

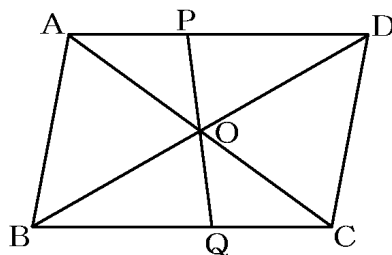
よって、 $\triangle APQ$ と $\triangle ADQ$ の面積は等しく、 $\triangle APQ$ の面積は $\triangle APD$ の半分になる。

ゆえに、 $(\triangle APQ \text{ の面積}) = 20 \div 2 = 10 (\text{cm}^2)$



[問題](3 学期)

平行四辺形 ABCD で対角線の交点 O を通る直線をひき、辺 AD, BC との交点をそれぞれ P, Q とします。
 $BQ : QC = 3 : 2$, $\triangle OCQ = 10\text{cm}^2$ であるとき、 $\triangle OAB$ の面積を求めなさい。



[解答欄]

[解答] $25(\text{cm}^2)$

[解説] $\triangle OBQ$ と $\triangle OCQ$ で、底辺をそれぞれ BQ, CQ とすると高さは共通なので、2 つの三角形の面積比は底辺の長さの比になる。

よって、 $\triangle OBQ : \triangle OCQ = BQ : CQ = 3 : 2$

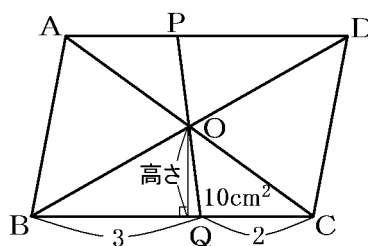
$\triangle OCQ = 10\text{cm}^2$ なので、 $\triangle OBQ = 10 \times \frac{3}{2} = 15(\text{cm}^2)$

よって、 $\triangle OCB = \triangle OBQ + \triangle OCQ = 15 + 10 = 25(\text{cm}^2)$

ところで、平行四辺形の対角線は中点で交わるので、 $OA = OC$

$\triangle OAB$ と $\triangle OCB$ の底辺をそれぞれ OA, OC とすると、高さは共通で等しい。

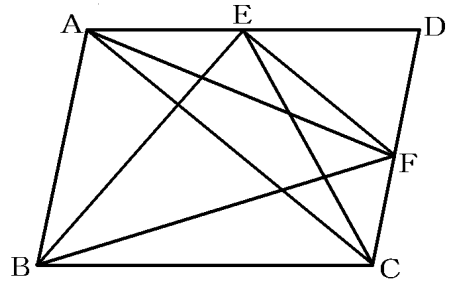
高さと同底辺の長さが等しいので、 $\triangle OAB = \triangle OCB = 25(\text{cm}^2)$



【】 平行線と面積②

[問題](3 学期)

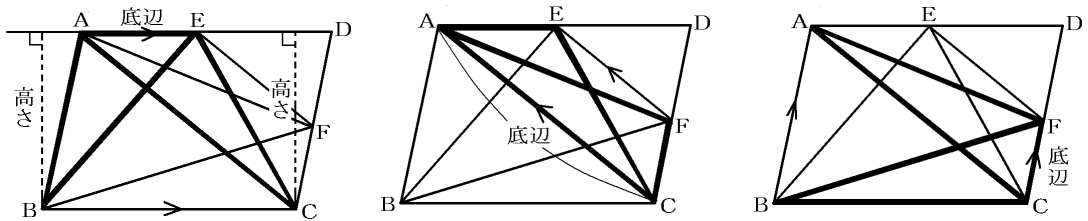
平行四辺形 ABCD の対角線 AC に平行な直線が
 辺 AD, CD と交わる点を、それぞれ E, F とする。
 このとき、 $\triangle ABE$ と面積が等しい三角形をすべて
 答えなさい。



[解答欄]

[解答] $\triangle ACE$, $\triangle ACF$, $\triangle BCF$

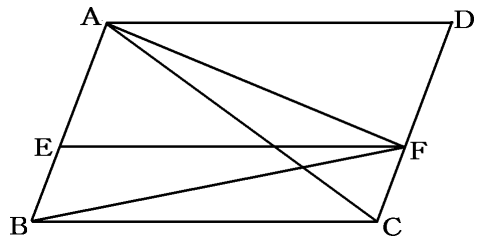
[解説]



[問題](3 学期)

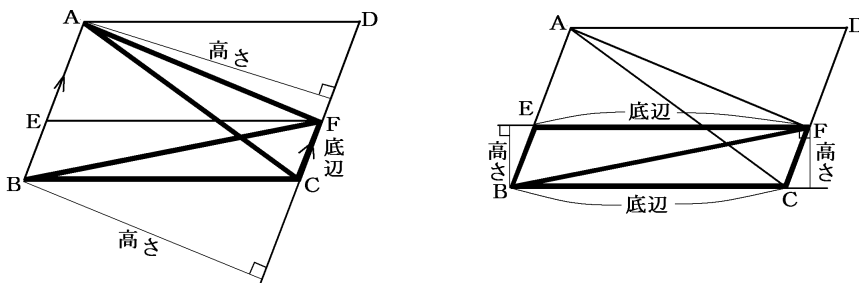
次の平行四辺形 ABCD で、 $AD \parallel EF$ であるとき、 $\triangle FCB$ と面積が等しい三角形を書きなさい。

[解答欄]



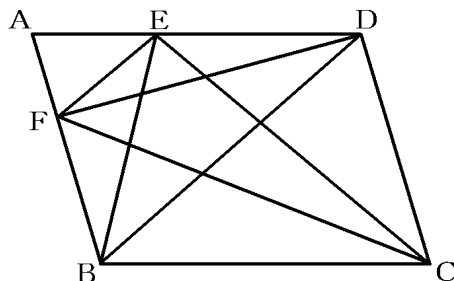
[解答] $\triangle FCA$, $\triangle BEF$

[解説]



[問題](3 学期)

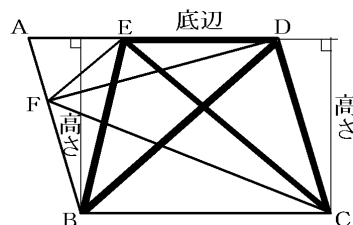
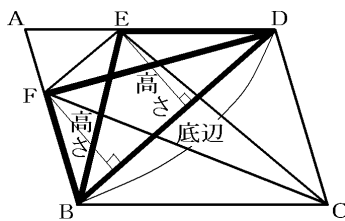
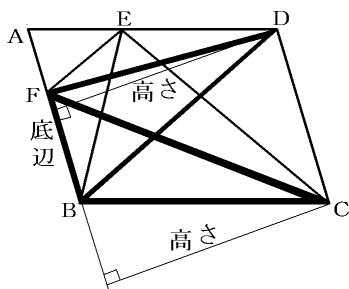
平行四辺形 ABCD の対角線 BD に平行な直線が辺 AD, AB と交わる点をそれぞれ E, F とします。このとき, $\triangle BCF$ と面積が等しい三角形を 3 ついいなさい。



[解答欄]

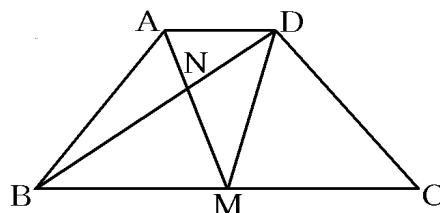
[解答] $\triangle BDF$, $\triangle BDE$, $\triangle CDE$

[解説]



[問題](3 学期)

$AD \parallel BC$ である台形 ABCD があります。辺 BC の中点を M とし, A と M, D と M, D と B をそれぞれ結び, AM と BD の交点を N とする。この時, 面積の等しい三角形の組をすべてあげなさい。



[解答欄]

[解答] $\triangle DCM = \triangle DBM = \triangle ABM$, $\triangle BAD = \triangle MAD$, $\triangle ABN = \triangle DMN$

[解説]

まず, $\triangle DCM$ と $\triangle DBM$ で, 底辺をそれぞれ CM, BM とすると高さは共通で等しい。M は BC の中点なので $CM = BM$ 。底辺の長さと高さが等しいので, $\triangle DCM = \triangle DBM$
 $\triangle DBM$ と $\triangle ABM$ で, 底辺を BM とすると, $AD \parallel BC$ なので 2 つの三角形の高さは同じ長さになる。底辺の長さと高さが等しいので, $\triangle DBM = \triangle ABM$

ゆえに、 $\triangle DCM = \triangle DBM = \triangle ABM \cdots \textcircled{1}$

次に、 $\triangle BAD$ と $\triangle MAD$ で、底辺を AD とすると、 $AD \parallel BC$ なので 2 つの三角形の高さは同じ長さになる。底辺の長さと高さが等しいので、 $\triangle BAD = \triangle MAD \cdots \textcircled{2}$

また、 $\triangle ABN = \triangle BAD - \triangle NAD$ 、 $\triangle DMN = \triangle MAD - \triangle NAD$

$\textcircled{2}$ より、 $\triangle BAD = \triangle MAD$ なので、 $\triangle ABN = \triangle DMN \cdots \textcircled{3}$

$\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ 、 $\textcircled{3}$ が面積の等しい三角形の組である。

【】 等積変形

[問題](3 学期)

右の図で、 $DE \parallel AC$ のとき、四角形 $ABCD$ の面積と $\triangle ABE$ の面積が等しくなることを()を埋めて証明しなさい。

(仮定) (1)

(結論) (2)

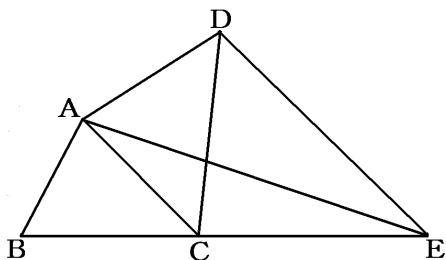
(証明)

四角形 $ABCD = \triangle ABC + \triangle(3)$

また、 $DE \parallel AC$ より、 $\triangle(3) = \triangle$

(4)

四角形 $ABCD = \triangle ABC + \triangle(3) = \triangle ABC + \triangle(4) = \triangle ABE$



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

[解答](1) $DE \parallel AC$ (2) 四角形 $ABCD$ の面積と $\triangle ABE$ の面積が等しい (3) $\triangle ACD$

(4) $\triangle ACE$

[解説]

$\triangle ACD$ と $\triangle ACE$ において、

AC を共通の底辺とすると、 $DE \parallel AC$ なので、

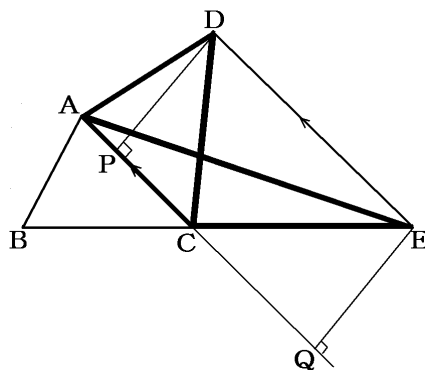
右図のように、 $DP = EQ$ で高さが等しい。

よって、2つの三角形の面積は等しく、

$$\triangle ACD = \triangle ACE$$

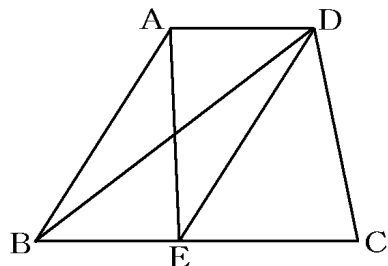
$$\text{四角形 } ABCD = \triangle ABC + \triangle ACD = \triangle ABC + \triangle ACE$$

$$= \triangle ABE$$



[問題](3 学期)

右の図の四角形 ABCD は $AD \parallel BC$ の台形です。
 $AB \parallel ED$ となるように点 E を BC 上にとったとき、
 $\triangle DBC =$ 四角形 AECD であることを、次のように証明
 しました。() にあてはまるものを入れなさい。



[証明]

$\triangle DBE$ と $\triangle DAE$ は、底辺(ア), を共通とし、
 $AB \parallel$ (イ)

よって、 $\triangle DBE = \triangle DAE \dots \textcircled{1}$

また、 $\triangle DBC = \triangle DBE + \triangle DEC \dots \textcircled{2}$

四角形 AECD = $\triangle DAE +$ (ウ) $\dots \textcircled{3}$

$\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$, $\textcircled{3}$ から

$\triangle DBC =$ 四角形 AECD

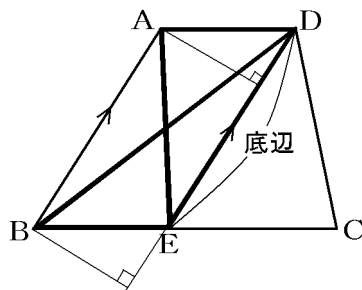
[解答欄]

ア	イ	ウ
---	---	---

[解答] ア DE イ DE ウ $\triangle DEC$

[解説]

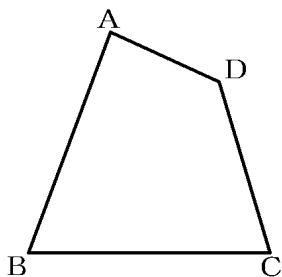
右図を参照



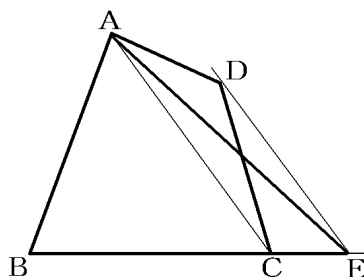
[問題](3 学期)

次の四角形 ABCD と、面積が等しい三角形 $\triangle ABE$ を
 作図しなさい。

(作図に用いた線は、消さずに残しておくこと)

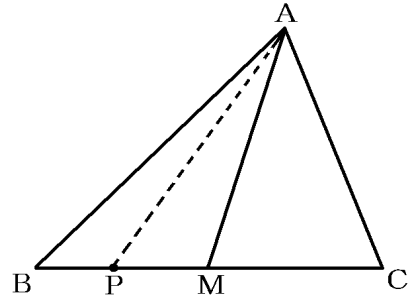


[解答]

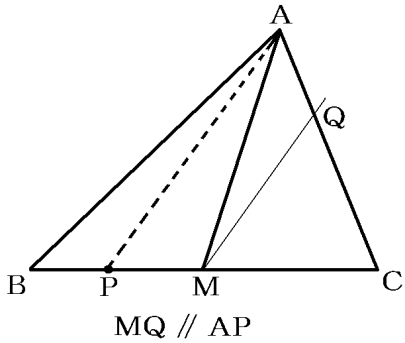


[問題](3学期)

△ABCにおいて、辺BCの中点をM、BM上の点をPとする。辺AC上に点Qをとって、線分PQが△ABCの面積を2等分するように、解答用紙の図に作図しなさい。ただし、作図に用いた線は残し、必要なマークやアルファベットを必ず入れること。

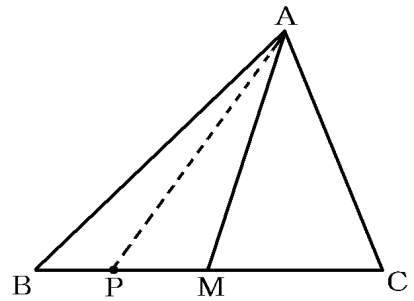


[解答]

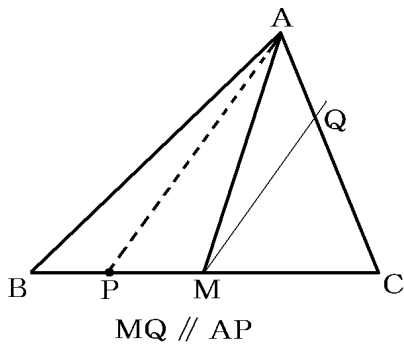


[問題](3学期)

△ABCにおいて、辺BCの中点をM、BM上の点をPとする。辺AC上に点Qをとって、線分PQが△ABCの面積を2等分するように、解答用紙の図に作図しなさい。

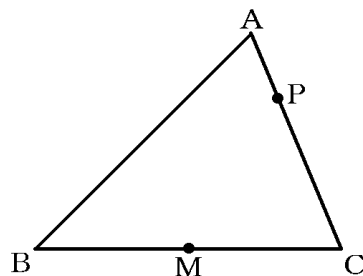


[解答]

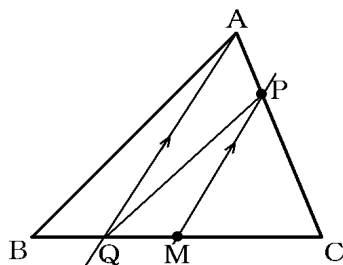


[問題](3 学期)

△ABC において、辺 BC の中点を M、辺 AC 上の点を P とする。辺 BC 上に点 Q をとって、△ABC の面積を 2 等分するような線分 PQ を作図しなさい。(ただし作図跡は残すこと)



[解答]



[解説]

PM に平行で A を通る直線が BC と交わる点が Q である。

△APQ と △AMQ において、

AQ を共通の底辺とすると、AQ // PM なので、

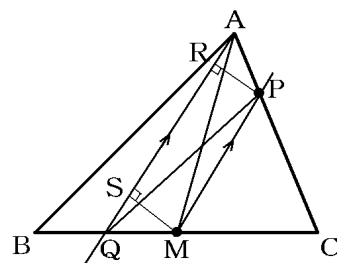
PR = MS で高さが等しい。

よって、2 つの三角形の面積は等しい(△APQ = △AMQ)。

四角形 APQB = △ABQ + △APQ = △ABQ + △AMQ = △ABM

ところで、M は BC の中点なので、 $\triangle ABM = \frac{1}{2} \triangle ABC$

以上より、四角形 APQB = $\frac{1}{2} \triangle ABC$ となる。



[問題](3 学期)

四角形 ABCD で、辺 BC 上の延長上に点 E をとり、四角形 ABCD と等しい三角形を作りたい。このときの方法を以下のように説明した。() にあてはまる言葉や記号を書きなさい。

BC を延長する。対角線(ア)をひき(ア)に平行で(イ)を通る直線を引く(l とする) l と BC の延長との交点を E とする。すると四角形 ABCD = △(ウ)となる。

[解答欄]

(ア)	(イ)	(ウ)
-----	-----	-----

[解答](ア)AC (イ)D (ウ)ABE

[印刷／他のPDFファイルについて]

※ このファイルは、FdData 中間期末数学 2年(7,800 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 中間期末数学 2年は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※FdData中間期末(社会・理科・数学)全分野のPDFファイル、および製品版の購入方法は<http://www.fdtex.com/dat/> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData2)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイル(各教科約 1800 ページ以上)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

※ダイアログが表示されたら、【実行】 ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd教材開発】 (092) 404-2266

<http://www.fdtex.com/dat/>